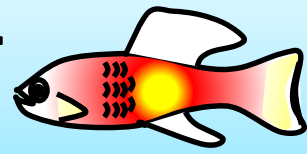


# ターコイズキリフィッシュ ミニワークショップ



日時: 2019年5月22日(水) 15:00~17:00

近年、新たな老化モデルとして小型魚類ターコイズキリフィッシュが注目されている。ターコイズキリフィッシュは飼育可能な脊椎動物モデルの中で最も寿命が短く、また、遺伝子組換えも容易であるため、個体老化現象の分子機能を短期間で解析できるというメリットがある。しかし、世界を見渡してもターコイズキリフィッシュを扱う研究室はまだまだ少ない状況であり、本国では私たちを含め、ごくわずかな研究者しか使っていない。本ミニワークショップでは、東アジアのキリフィッシュ研究のフロントランナーである韓国の女性研究者Kim Yumi博士と新潟大の松井秀彰博士をお招きし、最新老化研究をご紹介していただくとともに、我々の分野での取り組みも紹介したい。このミニワークショップを、本国ならびにアジアのキリフィッシュ研究の発展の起爆剤としたい。

(企画: 群馬大学生体調節研究所 個体統御システム分野 石谷 太)

スケジュール:

15:00~ アフリカメダカは加齢のみでパーキンソン病に罹患する  
松井 秀彰 博士、新潟大学 超域学術院 脳病態解析分野 准教授 (日本語講演)

15:45~ Interaction of circadian clock with aging in the turquoise killifish  
Dr. Yumi Kim, DGIST, South Korea (英語講演)

16:30~ 群馬大学 生体調節研究所 個体統御システム分野での取り組み紹介  
阿部 耕太 研究員、群大生調研 個体統御システム分野

16:50~ General Discussion



会場: 群馬大学生体調節研究所 1F 会議室



上越新幹線 JR高崎駅から  
タクシーで30分

両毛線 JR前橋駅から  
バス(群大病院行)で15分、  
タクシーで10分(約4 km)

上越線 JR新前橋駅から  
タクシーで10分(約5 km)

学外からの参加をご希望の先生がいらっしゃいましたら、群馬大・生調研 石谷 太までご連絡ください(e-mail: [ishitani@gunma-u.ac.jp](mailto:ishitani@gunma-u.ac.jp) TEL: 027-220-8892)。